

横浜創英大学 看護学部 2020

入試ガイド

求める人材・学部の学び

考えて行動のできる看護職

専門的知識、技術、科学的判断力をもとに人々の健康の保持・増進とQOL（生活の質、生命の質）の向上に貢献するために「考えて行動のできる」看護職を育成します。

人間力と実践力のある看護職

「こども教育学部 幼児教育学科」と共通した科目を取り入れた多彩なカリキュラムによって、より幅広く、より専門的・実践的な能力を育成します。

次世代のリーダーとなる素質をもつ看護職

人の心に寄り添い、課題を探究し続ける学習意欲をもち、主体的に地域・社会に貢献できる看護職を育成します。

取得できる免許・資格

看護師
(看護師国家試験受験資格)

保健師★
(保健師国家試験受験資格)

養護教諭一種免許★
(教職課程科目単位取得者)

★：選択制の課程です。2つの課程を同時に履修する事はできません。

2020年度 入試選抜概要

● 募集人員

定員	80名	推薦入試(指定校・公募)	40名	一般入試	30名	センター試験利用入試	10名
----	-----	--------------	-----	------	-----	------------	-----

● 入学検定料

指定校推薦入試・公募推薦入試・一般入試	35,000円	センター試験利用入試	20,000円	一般・センター利用同時出願	45,000円
---------------------	---------	------------	---------	---------------	---------

● 試験会場：横浜創英大学

● 入試日程(全入試インターネット出願です)

入試種別	出願登録期間	試験日	合格発表	手続期間
指定校推薦入試Ⅰ期	11月1日(金)～11日(月)15:00まで ※書類郵送 11月1日(金)～11月11日(月)消印有効	11月16日(土)	11月22日(金)	11月25日(月)～12月5日(木)
公募推薦入試Ⅰ期				
指定校推薦入試Ⅱ期	12月2日(月)～10日(火)15:00まで ※書類郵送 12月2日(月)～12月10日(火)消印有効	12月14日(土)	12月20日(金)	12月24日(火)～1月10日(金)
公募推薦入試Ⅱ期				
一般入試Ⅰ期	1月5日(日)～25日(土)15:00まで ※書類郵送 1月5日(日)～1月25日(土)消印有効	2月1日(土)	2月10日(月)	2月11日(火)～25日(火)
大学センター試験利用入試Ⅰ期				
一般入試Ⅱ期	2月10日(月)～22日(土)15:00まで ※書類郵送 2月10日(月)～2月22日(土)消印有効	2月29日(土)	3月6日(金)	3月9日(月)～19日(木)
大学センター試験利用入試Ⅱ期				

● 入試選抜内容

入試種別	選抜方法	出願資格
指定校推薦入試Ⅰ期・Ⅱ期	1. 総合問題 2. 面接 3. 書類審査	推薦基準は高等学校第3学年1学期(又は前期)までの主要教科(国語、数学、理科、外国語)の評定平均が本学部の指定値を満たす者
公募推薦入試Ⅰ期・Ⅱ期	1. 総合問題 2. 面接 3. 書類審査	1. 2020年3月高等学校卒業見込みの者及び2019年3月高等学校卒業の者 2. 本学を第一志望とする者 3. 人物・行動について高等学校長が推薦する者
一般入試Ⅰ期・Ⅱ期	● 必須科目 …… 国語(古文・漢文を除く)、英語「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」 ● 選択科目 …… 数学「数学Ⅰ」、化学「化学基礎」、生物「生物基礎」から1科目を選択 ● 面接	
大学センター試験利用入試Ⅰ期・Ⅱ期	● 必須科目 …… 国語「近代以降の文章」、英語(リスニングを除く) ● 選択科目 …… 数学・化学・生物の3科目から高得点の1科目を判定に使用 数学 …… 「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、のいずれか1科目を選択 化学・生物 …… 理科グループ①から「化学基礎・生物基礎」の2科目、又は理科グループ②から「化学」、「生物」のいずれか1科目を選択 ● 面接	

● 出願資格<共通>

次の1～3のいずれかに該当する者。

- 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び2020年3月卒業見込みの者
- 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2020年3月修了見込みの者
- 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、次の(1)～(7)のいずれかに該当するもの。
 - 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。)で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - 文部科学大臣の指定した者
 - 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び合格見込みの者(大学入学資格検定規定による大学入学資格検定に合格した者を含む)
 - 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの
 - 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

推薦入試概要

指定校・公募推薦で実施する「総合問題」について

■ 出題の基本方針

解くのではなく、考えることに重点を置いた問題を出題します。図や表から、そこにある情報を読み取る力が試される問題であり、それについて自分の考えたことを文章で表現する力をみる問題ということになります。設問数は5問程度で、選択式と記述式(計算も含む)の両方です。

■ 前年度(2019年入学生用) 指定・公募推薦Ⅱ期の出題内容

医学研究や保健統計などを題材にした問題が出題されました。

設問

- わが国の総人口と年齢3区分別人口構成比(%)の年次推移について、簡潔に枠内に説明しなさい。
- 指標Ⅰの年次推移について、簡潔に枠内に説明しなさい。
- 指標ⅡのAの数値を求めなさい。(少数点以下切り捨て)
- 老年人口割合が高くなることで、社会にあたる影響や変化について具体例を4つ挙げて枠内に述べなさい。
- 【表1】を見て、あなたが考えたことを枠内に述べなさい。

【表1】わが国の総人口と年齢3区分別人口構成比(%)の年次推移(昭和25年～平成27年)

年次	総人口(千人)	年齢3区分別人口構成比(%)			指標Ⅰ	指標Ⅱ	
		0～14歳	15～64歳	65歳以上			
	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口			
昭和	25年	84,115	35.4	59.6	4.9	8	14
	30年	90,077	33.4	61.2	5.3	9	16
	35年	94,302	30.2	64.1	5.7	9	19
	40年	99,209	25.7	68	6.3	9	25
	45年	104,665	24	68.9	7.1	10	30
	50年	111,940	24.3	67.7	7.9	12	33
	55年	117,060	23.5	67.4	9.1	14	39
平成	60年	121,049	21.5	68.2	10.3	15	48
	2年	123,611	18.2	69.7	12.1	17	66
	7年	125,570	16	69.5	14.6	21	91
	12年	126,926	14.6	68.1	17.4	26	119
	17年	127,768	13.8	66.1	20.2	31	146
	22年	128,057	13.2	63.8	23	36	174
27年	127,095	12.6	60.7	26.6	44	A	

※厚生労働省「わが国の総人口と年齢3区分別人口構成比(%)の年次推移(昭和25年～平成27年)」のデータを基に作成。

面接試験について

■ 選考のポイント

看護学部では、全ての入試で面接試験を実施します。年々多様化していく医療現場において、看護師が求められるニーズは幅広く、かつ複雑になっています。これらに対応できる人材かどうか、学力以外に「人間性」「社会性」「対人能力」を面接試験で確認いたします。

面接時間は推薦入試では15分、一般・センター利用入試では10分で行います。

■ アドバイス

面接では、志望動機や勉学に取り組む姿勢、高校時代ががんばってきたことなどの質問の他、態度や言葉遣いなど、看護師としての資質が備わっているかなどの確認もいたします。

質問に対する回答は、「一般的な面接時の回答」などを丸覚えするのではなく、自分の言葉で話すように心掛けてください。笑顔も重要です。面接官の目を見て、ゆっくりと丁寧にお話することをお勧めします。

調査書などの評価について

推薦入試では「国語」「英語」「数学」「理科」の評定平均値を判定に取り入れ、「出欠の記録」についても確認いたします。評定平均値と出欠の記録については、その他の入試でも参考にさせていただきます。

さらに、「学習における特徴」、「行動の特長、特技等」、「部活動、ボランティア活動等」、「取得資格、検定等」、「その他」に記載されている内容等で、主体性について評価されている内容であったり、看護学部が求めている人材として適切な内容に関しては、全ての入試において評価材料として取り入れます。

一般入試

英語

English

出題の基本方針

高等学校までの学習内容をどの程度修得しているかを確認するための問題が中心となります。「発音・アクセント」「語彙」「文法」「長文読解」などで例年構成されますが、年によっては「会話表現」が出題されることがあります。なお、「リスニング」は出題されません。

昨年度の出題内容・分野について

「発音・アクセント」「語彙」「文法」に関するパートは、選択肢から正答を選び記号で答える形式で出題されました。「長文読解」のパートは、長さが300語程度の新聞記事から出題され、記述式（英文和訳）の問題が含まれていました。

注意事項とアドバイス

「発音・アクセント」や「文法」の問題に関しては、一般的な大学受験向けの参考書を中心に学習すれば十分です。高校生が知っておくべきベーシックな単語や文法が例年出題されます。なお、「アクセント」の問題は、「最初の音節をもっとも強く発音する語を5つ選ぶ」という形式が多いため、「音節」という言葉の意味を理解しておいてください。

「長文読解」の問題文は、新聞記事から出題されます。日頃から社会の動向などに関心に向け、日本語でも構わないので新聞によく目を通しておくのと良いです。記事の内容を予め知っている、例えば英字新聞の中に知らない単語が含まれていても、比較的スムーズに読み解くことができます。トピックとしては、保健・環境・時事問題などが多い傾向にあります。試験前1年以内の社会情勢に特に注目しておくのと良いでしょう。

国語

Japanese

出題の基本方針

高等学校の学習内容に準拠し、その学習を通じて得られる国語力に応じた出題を基本としています。論理的文章を正確に理解する能力や、文芸的文章の構成などを把握する能力を確認することを目的としています。

昨年度の出題内容・分野について

漢字の読み書きや記述形式を含む「現代文」が出題されます。長文問題は基本的に「評論文」です。ぜひ評論文に慣れておいてください。昨年度は安富歩の「複雑さを生きる」が出題され、現代の諸問題に対してどれだけ関心を持っているかということが問われました。

注意事項とアドバイス

評論文に慣れる方法としては、新書や一般文芸誌の評論をたくさん読むとよいでしょう。国語の教科書に載っているような評論家が、他に発表している文章なども勉強になります。設問に答える際は、問題の意図を外さないことが大事です。問題文（長文）の中に答えが必ずありますので、注意深く読んでください。さらに「何文字で説明しなさい」というような記述問題は、箇条書きや単語だけで答えるのではなく、文章で答えるようにしてください。主語・述語を合わせ、「～ということ。」と、きちんと文末まで書いてください。もしもわからなくても、諦めずに文中の単語を使い書ききることを心掛けてください。

また読解力とは別に、漢字・文法・慣用語（慣用語表現）の知識を問う問題も出題されます。漢字は部首や熟語の構造、文法は現代文法など、小・中学校までに学習した内容を確認してください。

数 学

Mathematics

出題の基本方針

出題範囲は数学Ⅰで扱われている内容に基づいて出題されています。ほとんどの問題が高校の教科書レベルで、一部の問題がセンター試験レベルです。

昨年度の出題内容・分野について

例年、大問が4つ出題されています。「因数分解や式の展開」「方程式や連立不等式」「2次方程式」「対称移動」「三角関数」「データの分析」から出題されています。

注意事項とアドバイス

教科書や問題集の例題や練習問題を繰り返し解くことが必要です。2次関数のグラフについて、軸や頂点などの理解と共に、グラフを描けるようにしておくことが必要です。正弦定理や余弦定理の基礎だけでなく、応用問題も解けるように準備しておきましょう。四分位数や四分位偏差、分散、共分散などの統計量を理解するだけでなく、実際に計算できるように繰り返し練習しましょう。記述式の問題も出題されており、式など途中点が与えられることがありますので、導出の過程を丁寧に回答するようにしましょう。

化 学

Basic Chemistry

出題の基本方針

出題範囲は化学基礎で扱われている内容に基づいて出題されています。ほとんどの問題が高校の教科書レベルで、一部の問題がセンター試験レベルです。また、基礎問題・標準問題から出題されており、取り組み易い問題となっています。

昨年度の出題内容・分野について

教科書で扱われている内容から満遍なく出題されています。出題の対象は「原子とその構造」や「イオン」、「周期表」、「化学結合」、「原子量や分子量」、「化学反応式」、「酸・塩基」、「水の電離や中和反応」、「酸化剤と還元剤」、「酸化還元反応」などです。有機化合物の燃焼についての問題が頻出しています。燃焼についての反応式や計算についてよく理解しておきましょう。

注意事項とアドバイス

しっかりと教科書を理解し、教科書の練習問題や演習問題を繰り返し解くことが必要です。知識を問う問題と計算問題が出題されています。計算問題は基本的な計算が多いので、しっかりと理解して計算間違いがないように気をつけましょう。

生 物

Basic Biology

出題の基本方針

生物基礎からの出題を基本としていますが、教科書に書かれている内容を記憶していれば解ける問題だけではなく、教科書の知識を前提として自分自身で考える必要のある問題も出題されています。

昨年度の出題内容・分野について

出題される問題数は5問です。Ⅰ期「生物とは」「発生と遺伝子」「免疫に関わる細胞」「肝臓の機能」「窒素の循環」、Ⅱ期「細胞の構造」「生殖細胞」「免疫のしくみ」「恒常性の維持」「炭素の循環」

注意事項とアドバイス

選択肢からの記号選択だけではなく、正確な漢字やカタカナでの記載を求めるものが出題されています。基本的な生物学用語については正確に書けるようにしてください。また、科学的な思考力を問う論述問題も出題されていますが、生物基礎の学力があれば理解できる内容です。設問はトに関与する生理、生化学的な内容が多く含まれますが、広い領域から出題されるので、偏りなく勉強してください。

先輩からの入試アドバイス

指定校推薦入試 合格

2018年入学 | 佐藤 明日菜 さん
私立横浜商科大学高等学校出身

私が横浜創英大学を受験しようと思ったのは、高校1年生の秋です。自分が通っていた学校に指定校推薦の枠があり、1年生の夏休みにオープンキャンパスに参加しました。オープンキャンパスでは、大学の先生がとても優しく接してくれて、疑問や不安に思っていたことを、丁寧に教えて頂きました。こんな素敵な先生がいる大学で学びたいと思ったのが、横浜創英大学への受験を決めたきっかけです。早い時期から志望校を決めた為、高校での3年間はとにかく成績を高く保つことを心がけて、日々の勉強に励んでいました。受験に向けての準備としては、オープンキャンパスで配布された総合問題の模擬問題や、面接試験の練習を行いました。総合問題を受験して思ったことは、問題の答えが合っているかどうか大切ですが、自分の意見や考えを文章に起こすことができるかどうか、問われているように思いました。面接の練習は、何を聞かれても落ち着いて答えられるように、繰り返し何度も質問に答える練習と、ゆっくり大きな声でハキハキと話す練習をしました。

横浜創英大学への受験を考えている受験生のみならず、素敵な大学生活を目指して頑張ってくださいね。大学でお待ちしています！

公募推薦入試 合格

2018年入学 | 山岸 さくら さん
私立二松学舎大学附属高等学校出身

高校1年生の頃に横浜創英大学を受験しようと考えました。オープンキャンパスへ何度も足を運ぶうちに、大学の雰囲気や先生・先輩方の優しく丁寧な態度を見て、この大学を第一志望にしようと思えました。オープンキャンパスは、実際に参加して多くのことを見ることができたのでお勧めします。

受験の準備としては、総合問題対策の勉強に力を入れました。オープンキャンパスでの「入試対策講座」は推薦で受験を考えている方にはとても為になります。対策講座では模擬問題を説明するのですが、模擬問題の内容について高校の保健の教科書を読んだりして勉強しました。面接試験もあったので、看護大学向けの面接対策の本を参考にし、質疑応答の対策をノートに纏め、自分の意見を答えられるようにしました。「志望理由」「何故看護師になりたいか」「どんな看護師になりたいか」について、しっかり答えられるようにしておくことが大事です。さらにニュースや新聞、中でも医療や看護に関係するものに毎日目を通しておきました。動機や姿勢も見られるので、「看護師になるために何が何でも頑張る」という強い意志を面接で伝えることができるといいと思います。

一般入試 合格

2018年入学 | 山中 佑香 さん
神奈川県立新城高等学校出身

私が受験勉強を本格的に開始したのは、高校3年の夏頃です。高校2年の夏休みから塾には通っていましたが、受験勉強は基礎から学び直しました。

受験した科目は、英語・国語・数学でした。英語の対策としては、単語をたくさん覚えることから始めました。覚えた単語を自分でテストしたり繰り返し声に出して読んだり、何度も書いて忘れないようにしました。国語は多くの文章を読んで、問題を解きました。語彙を増やし、接続詞に注意して読み進めるようにしました。数学は苦手な科目だったため、模試では点数が伸びず、足を引っ張っていました。数学の勉強は、まず公式を完全に覚えて、同じ公式を使う問題をいくつも解きました。特に数学は横浜創英大学の3年分の過去問題に繰り返し取り組みました。何度も繰り返し解いていくうちに、問題の傾向や特徴などが掴めてきました。この入試の対策として過去問題を何度も解くことをお勧めします。面接試験は、自分が何故看護職を目指しているのか、理由を明確にして自分の言葉で整理して答えられように纏めました。

一般入試は筆記試験にウエイトを置いて準備をすると良いと思います。

センター試験利用入試 合格

2018年入学 | 山口 華穂 さん
私立駒場学園高等学校出身

私が大学選びに重視したことは、看護師だけでなく保健師の受験資格も得ることができること、自宅から近いことでした。保健師を目指す為に通学の時間を勉強の時間に当てたい、と考えて自宅から近いこの大学を選びました。

私は、塾や予備校に通っていませんでした。自分の学校に残って勉強をしていました。高校3年生の授業が終了してからも、毎日決まった時間に学校や図書館で勉強をしました。周りに自分以外にも勉強をしている仲間がいることが、自分をやる気にさせてくれました。受験勉強は、一冊の問題集を覚えるくらい何度も解きました。わからないことや疑問に思ったことはすぐに先生に確認して解決し、理解してその場で覚えるようにしました。入試直前は焦りが出て自信を失いそうだったので、薄い問題集に切り替え、この1冊を終わらせるという小さな目標を掲げて、達成していくようにしました。

面接試験を受けて感じたことは、医療に関すること以外にもその時の話題について自分がどう考え、思っているかなど意見を持つべきだったと思いました。

また、知識は入試直前までつけることが可能なので、ギリギリまで諦めずに粘ることが何よりも大切だと思いました。

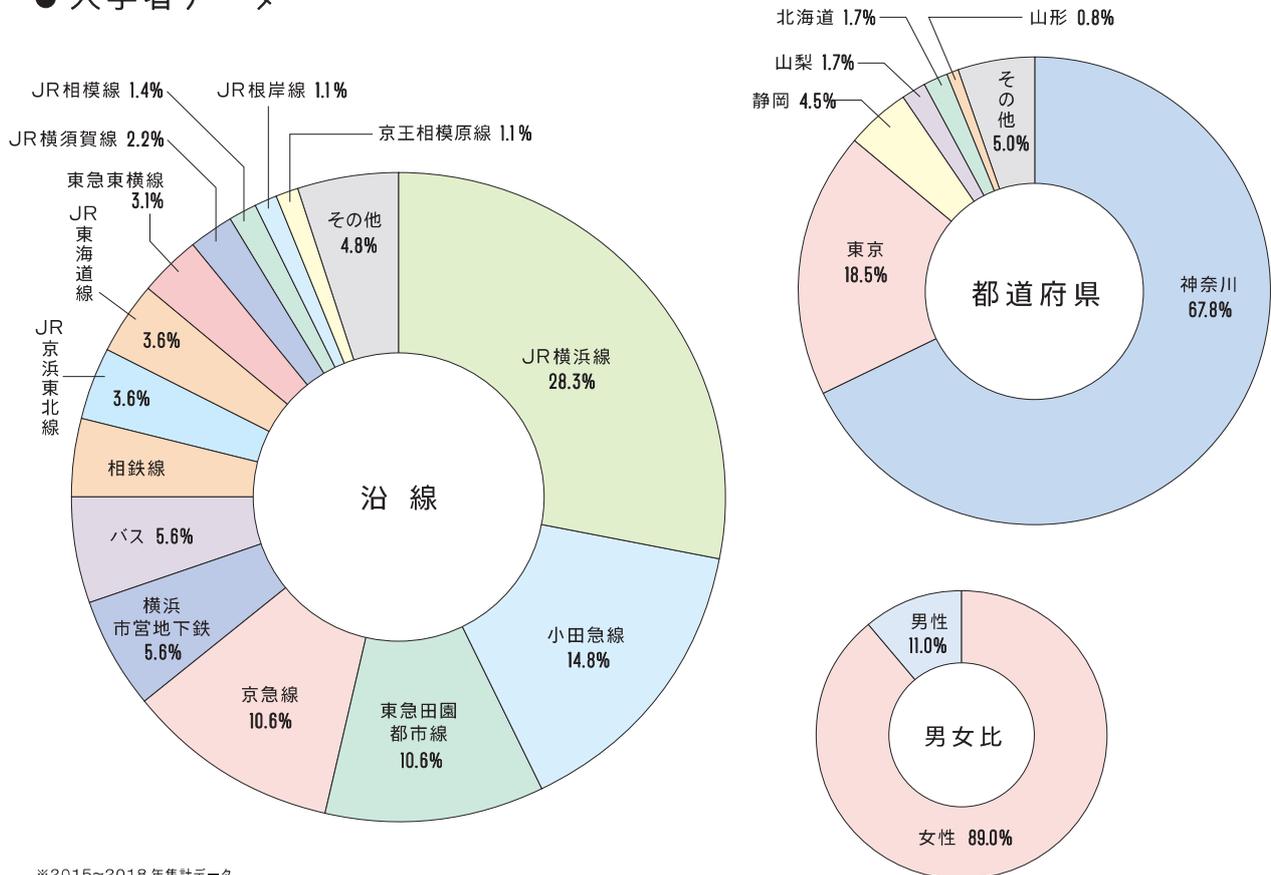
過去入試結果

● 入試データ (指定校推薦入試は除く)

入試区分	期	2017年度								2018年度								2019年度							
		志願者			合格者			倍率	合格最低得点率(%)	志願者			合格者			倍率	合格最低得点率(%)	志願者			合格者			倍率	合格最低得点率(%)
		計	女	男	計	女	男			計	女	男	計	女	男			計	女	男					
公募推薦入試	I期	31	28	3	15	15	0	2.1	-	34	30	4	15	14	1	2.3	-	25	23	2	24	22	2	1.0	-
	II期	23	20	3	11	10	1	2.1	-	13	12	1	9	9	0	1.4	-	10	10	0	7	7	0	1.4	-
一般入試	I期	163	141	22	115	102	13	1.4	57.5	122	107	15	98	89	9	1.2	45.5	152	137	15	110	102	8	1.4	53.0
	II期	31	21	10	6	6	0	5.2	61.8	19	17	2	3	3	0	6.3	64.2	25	22	3	2	2	0	12.5	80.0
大学センター試験利用	I期	111	101	10	63	59	4	1.8	56.0	87	81	6	66	61	5	1.3	42.2	104	94	10	72	66	6	1.4	50.2
	II期	9	8	1	1	1	0	9.0	71.2	3	3	0	0	0	0	-	-	13	12	1	2	2	0	6.5	72.0
合計		368	319	49	211	193	18			278	250	28	191	176	15			329	298	31	217	201	16		

※合格最低得点率は、一般入試・センター利用入試に関して、400点満点に対する得点率です。 ※補欠合格は数値には含んでおりません。

● 入学者データ



※2015～2018年集計データ